

先端的 NMR 拠点から生まれる新たな潮流： 最新成果，役割，利用

日時：2011 年 7 月 28 日(木)，29 日(金)
場所：大阪大学蛋白質研究所(吹田キャンパス) 1 階講堂
(<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>)

7 月 28 日(木)

13:00 所長挨拶

長谷俊治(蛋白研 所長)

Session 1

13:05 先端的な NMR 研究と共同利用

藤原敏道(阪大 蛋白研)

13:35 950MHz-NMR マシンの性能を最大限に引き出すことを目指して

池上貴久(阪大 蛋白研)

14:05 理研横浜 NMR 施設の現状とこれから

木川隆則(理研 生命分子システム基盤)

14:35 創薬応用研究を志向した NMR 相互作用解析

高橋栄夫(横浜市大 院生命ナノシステム科学)

—休憩—

Session 2

15:20 共有結合を用いた平衡シフトによる過渡的タンパク質複合体の安定化とその応用

神田大輔(九大 生体防御医学研)

15:50 幼若ホルモン輸送の分子構造メカニズム

山崎俊正(農業生物資源研)

16:20 超高磁場 NMR を利用した凝集性をもつ蛋白質の解析

寺沢宏明(熊大院 生命科学)

—休憩—

Session 3

17:05 産業界への NMR 施設開放事業

片平律子(阪大 蛋白研)

17:20 最先端 NMR への企業からの期待

山崎 悟(旭化成(株))

17:50 産業用酵素の構造機能研究—最先端 NMR への食品系企業からの期待—

鈴木榮一郎(味の素(株))

—懇親会—

7 月 29 日(金)

Session 4

09:30 立体構造進化と論理的創薬を担う岐阜大 NMR 拠点

桑田一夫(岐阜大 連合創薬)

10:00 蛋白質の準安定状態に着目した新しい構造生物学の展開

北原 亮(立命館大 薬)

10:30 超高磁場 NMR のための高感度測定技術

児嶋長次郎(阪大 蛋白研)

—休憩—

Session 5

11:15 磁気共鳴スペクトロスコピーによるヒトの脳内温度の測定

吉岡芳親(阪大 免疫学フロンティア)

11:45 NMR を用いた細胞構造生物学

伊藤 隆(首都大 理工)

世話人：藤原敏道、児嶋長次郎、池上貴久、片平律子(阪大 蛋白研)
連絡先：〒565-0871 吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所 藤原敏道
TEL：06-6879-8598 E-mail：tfjwr@protein.osaka-u.ac.jp
参加費・事前登録：不要

